

令和5年夏季滋賀県連合子牛共進会・せり市

令和5年7月12日、高島市今津町にある高島総合家畜市場で令和5年夏季滋賀県連合子牛共進会・せり市が開催されました。出品頭数は、雌19頭、去勢26頭の合計45頭でした。



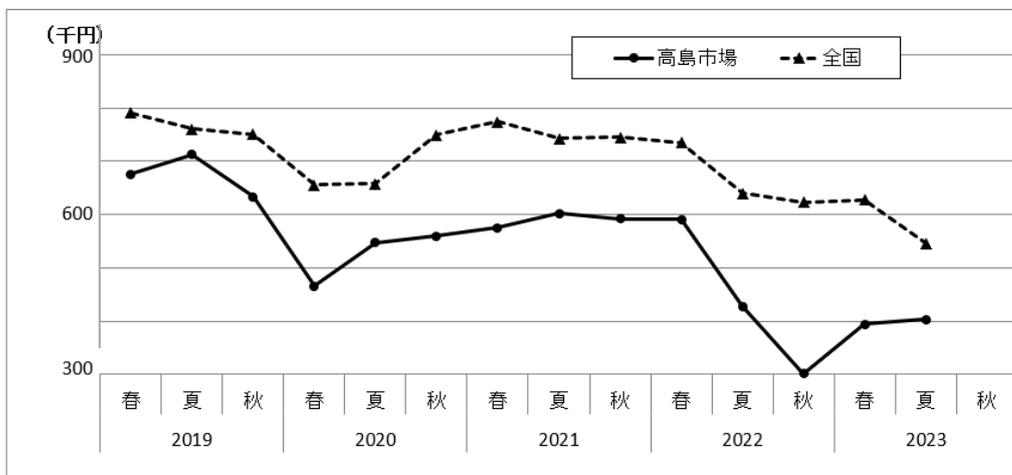
審査風景

午前中に開催された共進会において、最優秀賞に甲賀市、岡崎充志さん出品の「あきら」号が選ばれました。本牛は215日齢・体重242kg・体高108.4cm・胸囲145.0cmと大変発育良好で、体躯の幅・伸びとも充実しており、資質も大変優れた素晴らしい子牛でした。また、併せて「おうみ」と牛繁殖協議会長賞にも選ばれました。

午後からは表彰式の後、せりが行われました。雌は最高511,000円・最低170,000円・平均価格366,000円、去勢は最高625,000円・最低260,000円・平均430,500円、全体の平均価格は403,311円でした。

前回の市場(令和5年3月7日開催)と比較すると、平均価格は、雌はほぼ前回並み、去勢は約2万円、全体の平均価格は約1万円高くなっています。また令和4年夏季の市場と比較すると、雌は約3万円高く、去勢は約6万円、全体の平均価格は約2万円安くなっています。

新型コロナウイルス感染症についての感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、様々な規制が緩和される中、和牛子牛価格の上昇が期待されるどころでしたが、飼料や資材の高騰と枝肉相場低迷で肥育農家の子牛導入意欲は弱く、5月には全国の和牛子牛の平均価格が8年ぶりに60万円を割り込むなど、依然として低迷が続いています。物価上昇で牛肉消費の低迷が続いていますが、外食やインバウンド需要の回復が枝肉相場へ反映され、和牛子牛価格の上昇につながることを期待されます。(藤井)



高島総合家畜市場子牛価格の推移